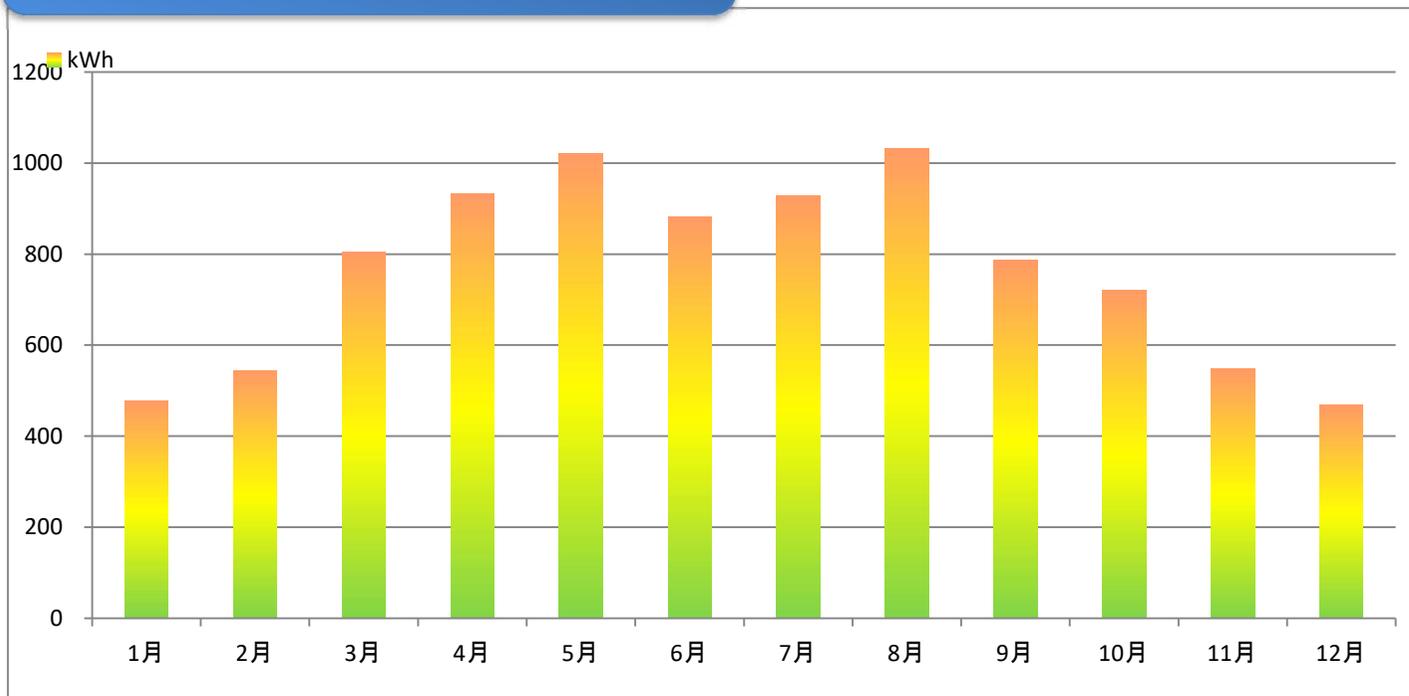


ハンファジャパン 年間発電量シミュレーション

近江八幡市新中小森2号地様邸

積雪は考慮しております。

ピークカットを考慮しております。



システム容量	8.265	kW			
年間予測発電量	9,149	kWh			
都道府県	滋賀県	日射量観測地点	東近江	積雪量	30

屋根面	傾斜角度	方位角(度)	太陽電池モジュール	枚数(枚)
西南西1	3寸	54	Re.RISE-G2 435	15
西南西2	3寸	54	Re.RISE-G2 435	4
合計				19 枚

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
予測発電量(kWh)	478	544	806	934	1,020	883	929	1,032	786	722	548	468	9,149

パワーコンディショナ	台
ESS-T3M1	1

算出式

月間発電量(kWh)=太陽電池モジュール容量(kW)×月平均傾斜日射量(kWh/m²・day)×パワーコンディショナ変換効率×太陽電池モジュール温度損失×その月の日数×その他係数*1

* 1 その他係数については下記注意事項の注4を参照ください。

注意事項

注1 諸条件（気象、立地、設置条件）により、実際の発電量は大きく変動する場合があります。

注2 実際の建物に設置した場合、傾斜角・方位角・緯度・システム回路構成及び構成機器種類により発電量が異なる場合があります。

注3 メインモジュールの温度損失は12月～3月：7.8%、4月～5月：11.7%、6月～9月：15.6%、10月～11月：11.7%としています。

注4 太陽電池モジュールのポジティブトレランス、システムロス及び低照度特性等の効果を考慮しています。

算出条件等

・公称最大出力は、JIS規格に基づいて算出された太陽電池モジュールの出力です。

(JIS標準試験条件：AM1.5,日射強度1kW/m²,モジュール温度25℃)

・日射量データはNEDOの全国日射関連データ(1981～2009年の29年間の観測値)の日射データ、及び2015年の気象協会のデータを元に、NEDO標準気象データベース解説書による計算式より日射量を算出しています。

・実使用時の出力(発電電力)は、日射の強さ、設置条件(方位・角度・周辺環境)、地域差、及び温度条件により異なります。発電電力は最大でも太陽電池容量の70-80%程度になります。

・本シミュレーション結果は実際の設置時の発電量を保証するものではありません。あくまでも目安として利用ください。

